

田中丈さん(河南中) 警察庁長官賞に

命の大切さを学ぶ教室作文コンクール

「あたりまえ」を「ありがとう」

「命の大切さを学ぶ教室」の県作文コンクール中学生の部で最優秀賞となった、出雲市立河南中学校(同市神門町、大國哲也校長)3年の田中丈さん(15)が、全国作文コンクールで警察庁長官賞を受賞。東京であった全国コンクールの表彰式に出席した。15日には県コンクールの表彰伝達式が同校であった。

犯罪被害者やその遺族らの講演を聞く「命の大切さを学ぶ教室」は、社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さないまじづくりに向けた取り組みとして、全国で開催されている。同コンクールは、この教室を受講し

た中高生を対象に実施している。

田中さんは、飲酒運転の車に突然娘の命を奪われた江角弘道さん(同市斐川町、73)の講演を聞いた。

田中さんは、飲酒運転の車に突然娘の命を奪われた江角弘道さん(同市斐川町、73)の講演を聞いた。

は、この教室を受講し

た中高生を対象に実施している。

田中さんは、飲酒運転の車に突然娘の命を奪われた江角弘道さん(同市斐川町、73)の講演を聞いた。

田中さんは、飲酒運転の車に突然娘の命を奪われた江角弘道さん(同市斐川町、73)の講演を聞いた。

田中さんは、「江角さんの話がとても心に響いた。日常でできることから取り組み、親や地域の人など身近な人に何かしてもらったら、一つ一つに『ありがとう』と言おうと思います」と話した。

同校であった県コンクールの表彰伝達式には、県警本部警務部広報員課長の三原亮二

警視が訪れ、田中さんに表彰状を手渡し、榮譽をたたえた。



県コンクールの表彰状を受け取る田中さん(左) 15日、出雲市神門町の河南中学校

